

## 桂クラブ創部90周年記念試合

### 欽ちゃん球団 茨城ゴールデンゴールズ VS 1915年創部 桂クラブ

日時 10月30日(日)  
午前10時30分 開場  
午後1時 試合開始  
場所 都留市総合運動公園  
「楽山球場」  
※ 駐車場があまりありません。  
お車で越しの際は乗り合わせにご協力ください。  
問合先 桂クラブ後援会事務局  
☎ (45)6696 杉山



### 桂クラブ90年の歴史 草創期

大正4年、日本は大戦景気の恩恵に浴している、そんな時代であった。

7月の暑い日、東京から一人の青年が帰郷した。「奥源緑」谷村の地に野球を持ち帰った男である。早稲田実業在学中より野球を始め、早実から早大を出て帰郷したものの野球への情熱はつものばかりであった。奥は、谷村から都留中(現都留高)へ通う尚志会のメンバーを集め、狭い谷村小の校庭で野球を楽しんだ。

この年、第1回全国中等学校野球大会が開催され、今日

の高校野球へと繋がる長い歴史の第一歩を刻み、野球は、着実に人々の心をとらえていった。

そんな中、彼らは山梨師範学校(現山梨大)野球部と一戦交えることになった。時は、8月29日。場所は、山梨師範学校校庭。遠征に際し、「つぎぬ桂川の清流」にちなみ「かつら」と命名し、「ここに日本に現存する社会人硬式野球チームでは、函館大洋(オーシャン)倶楽部に次ぐ全国2番目の伝統を誇る「桂倶楽部」が誕生したのである。試合は、5対2で快勝し、文字通り初戦を飾った。

### 黄金期

桂倶楽部は、町内少年野球大会を主催し、野球少年の育成に力を入れた。やがて野球少年の大半は、桂倶楽部の主力となりチームを最強とする。ともに谷村を県内一野球の盛んな町にしたのである。

また、現在73回を数える町別野球大会は、昭和4年に桂倶楽部が始めた大会であり、この種の大会としては全国でも最も伝統のある大会といわれている。

桂倶楽部は、大正末期から昭和初期にかけて黄金時代を迎えた。都市対抗野球山梨大会には常に参加し、甲府静大会、山静大会にもしばしば出場した。特に昭和14から16年には、3年連続優勝を飾り県下に敵なしの黄金時代を謳歌したのである。

### 復興期

戦争が終結。食糧難の時代。混乱と虚脱感が人々を支配していた。しかし、桂倶楽部は、生きていた。古いクラブ、傷だらけのバットを持ち寄り練習を始めた。

昭和21年には都市対抗野球が復活。翌22年、桂倶楽部は、県大会で優勝し甲府静大会に出場した。また、桂倶楽部のメンバーが加わった谷村L.C.が軟式野球全国大会で準優勝するなど県内社会人野球のす

べての優勝旗を谷村に持ち帰ったという。

谷村工商(現谷村工高)が甲子園に初出場。これを機に谷村OBが続々と桂倶楽部に加え、チーム力はさらに高まり、昭和30年、都市対抗野球山梨大会にてノンプロ東芝富士を破るといふ快挙を成し遂げたのである。

### 低迷期

この前後より社会人野球界は、企業チームが主体となりクラブチームは、地区大会に出場するのがやつとで桂倶楽部でも昭和41年に都市対抗山梨大会に久しぶりに出場したが静岡の企業チームに大敗した。

しかし、昭和50年代には、クラブ対抗野球大会が開催されるようになり、クラブチームにとって新たな目標が生まれたのである。

昭和60年「桂クラブ70周年」を機に盛り上がった桂クラブは、翌61年の中部連盟クラブ対抗野球大会に念願の初優勝を飾ったがその後は、さしたる戦績を残せなかった。

### 現在

10年前の平成7年、「桂クラブ80周年」には、「函館大洋倶楽部」を楽山球場に迎え、全国1番と2番の伝統を誇る親善試合を開催し、ゆっくりとした歩みながらチーム力を高めてきた。

数年前より企業チームの解散・休部が相次ぎ、社会人野球の流れが変わってきている。しかし、本年結成された萩本欽一氏の「茨城ゴールデンゴールズ」や野茂英雄氏の「野茂クラブ」が社会人野球に新しい流れを創りつつある。

桂クラブは、本年、創部90周年を迎えた。この記念すべき年に「茨城ゴールデンゴールズ」と楽山球場にて対戦し、新しい活力を注入する。100年の大計に向け創始者「奥源緑」の言葉「野球で培った健全な精神こそ郷土発展の最善の道」を部訓として、また歩みを進める。

